

第 57 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 26 年 6 月 6 日(金)10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:永田委員長、大石委員、鬼沢委員、小島委員、山下委員
以上 5 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成 25 年度事業報告書(案)、平成 25 年度決算報告書(案)
②平成 25 年度の再資源化預託金等運用評価について
③平成 25 年度離島対策等支援事業の実施結果について
④平成 25 年度の外部業務監査結果について
⑤新車販売台数の長期予測に係る調査会社の選定について
⑥その他

5. 議事録

(1)議題①について

平成 25 年度事業報告書(案)、平成 25 年度決算報告書(案)について、事務局から、資料 3-1 から資料 3-10 にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

資料3-8の退職給付引当金は、期末に職員全員が自己都合退職した場合の金額相当額を計上しているということか。

【事務局】

その通りである。

(2)議題②について

平成25年度の再資源化預託金等運用評価について、事務局から資料4-1及び資料4-2にて説明し、案のとおり承認された。

(3) 議題③について

平成 25 年度離島対策等支援事業の実施結果について、事務局から資料 5-1 から資料 5-2 にて報告し、了承された。

<意見>

【委員】

資料5-1の収支報告で、調査費及び理解普及活動費が前年度と比べ減少した要因は何か。

【事務局】

調査費については、平成24年度は島根県4町村及び沖縄県1町への訪問支援を一度ずつ行い393千円だったが、平成25年度は香川県小豆島2町への訪問支援の一度であったため166千円と減少した。

理解普及活動費については、平成24年度は事業周知カレンダーの作成により1,000千円だったが、平成25年度はカレンダーに比べ作成費用が安価なチラシを作成したため418千円と減少した。

【委員】

訪問支援及び理解普及活動は、引き続き効果等を見極めながら対応してほしい。

【事務局】

了解した。

【委員】

資料5-1別紙1の市町村別事業計画・実績で、熱海市の台当たり単価が比較的高い要因は何か。

【事務局】

次回の諮問委員会にて説明する。

【委員】

資料5-1別紙1の市町村別事業計画・実績で、奄美4市町村及び徳之島3町は、複数の市町村としてまとめられているが、どのようなルールになっているのか。

【事務局】

奄美4市町村及び徳之島3町のように、申請の受付事務・管理の効率化等を目的に広域で連携して事業を運用している場合、当財団はひとつにまとめられた出えん計画及び申請を受け付けるようにしている。

(4) 議題④について

平成25年度の外部業務監査結果について、事務局から資料6-1から資料6-2にて説明し、案のとおり承認された。

(5) 議題⑤について

新車販売台数の長期予測に係る調査会社の選定について、事務局から資料7にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

予測を委託するのは1社だけか。

【事務局】

予算の制約もあるので、1社にしたい。

【委員】

予測手法や経済成長率の前提はJARCから提示するのか。

【事務局】

消費税増税の影響や保有状況等、どのような影響を加味するかは指定するが、その手法や前提を決めるのは専門家の方が詳しいと考える。

【委員】

結果について、いくつかのシナリオをだしてもらうのか。

【事務局】

複数シナリオの報告となるかは調整を要するが、受領した報告を基に作成するJARCとしての予測は複数シナリオを作成する。

【委員】

最低価格落札方式で大丈夫か。応募はどの程度あるのか。

【事務局】

入札参加要件等の審査も行うので、問題ないと考える。また、当該業務を行っている調査会社は限られているので、応募は多くても3社から5社程度だと考える。

【委員】

調査会社から受領した調査報告書は公表すること。

【事務局】

了解した。

(6) 議題⑥について

事務局から資料8-1にて、公益財務基準(収支相償、遊休財産の保有制限)との適合見込みについて、平成26年度予算を前提とした場合及び平成25年度決算において、いずれも適合する見込みであることを報告し、了承された。

また、資料8-2にて、事務統括部財団運営費の内訳について報告し、了承された。

<意見>

【委員】

資料8-2の事務統括部の財団運営費については、ほとんどが製造業者等による負担であることから、財務バランスには影響がないということか。

【事務局】

その通りである。

【委員】

事務統括部の財団運営費については、理事会や評議員会でもきちんと整理して、了解を受けておくこと。

【事務局】

了解した。

以上